

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1493800096
法人名	特定非営利活動法人 都筑折本会
事業所名	グループホーム蘭寿しらかし
訪問調査日	平成 21年3月31日
評価確定日	平成 21年5月12日
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1493800096
法人名	特定非営利法人 都筑折本会
事業所名	グループホーム蘭寿しらかし
所在地	〒224-0043 横浜市都筑区折本町1373-1 (電 話) 045-342-6090

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成21年3月31日	評価確定日	平成21年5月12日

【情報提供票より】(21年3月9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成20年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	26人	常勤 6 人, 非常勤 20 人, 常勤換算 11. 2	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	36,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	200 円
	または1日当たり		1,500 円	

(4) 利用者の概要(3月9日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護1		名	要介護2	7	名	
要介護3	7	名	要介護4	2	名	
要介護5	5	名	要支援2		名	
年齢	平均	84.2 歳	最低	76 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	港北メディカルクリニック・横浜新緑総合病院・ワタナベ歯科医院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>◇地下鉄ブルーライン線仲台町駅からバスで5分の、前に小川が流れ、周りを畑や林に囲まれた閑静な地にある。</p> <p>◇理念は「自分らしくありのままに」を基本に、利用者が「ゆっくり・ゆったり・のんびり・いっしょに・楽しく暮らし続ける」事を掲げている。</p> <p>◇散歩を日課として、道で会う人とはこやかに挨拶を交わし、畑で仕事をする農家の方達とも馴染みになり、旬の野菜や花を差し入れて貰っている。正月の獅子舞や、お祭りの神輿・山車がホームまで来てくれるなど地域に溶け込んだ生活をしている。</p> <p>◇代表者、管理者、職員間のコミュニケーションの良さが利用者の日常生活に安心を与え、住みよい場所になっている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・今回が初めての外部評価で前回指摘事項はない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価作成には非常勤を含む全職員が取り組んだ。職員が記入した意見を、各ユニットの主任とホーム長が取りまとめた。自己評価作成で、地域の中で生活することや運営推進会議の活用意義などを理解することができ、これからの運営に参考になっている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>・初めての運営推進会議を平成21年3月28日に開催した。参加者は自治会長・民生委員・婦人部会長・包括支援センター職員・家族・利用者であった。</p> <p>・会議では事業所から利用者の状況や誕生会等の行事について説明し、参加者からは食事のメニュー作り等の質問があり、当事業所に対する参加者の理解を深め得た。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>・家族の意見や苦情は面会時に聞いているが、電話やメールからも意見も寄せられ、それらは記録して職員に周知し、日常の支援サービスなど事業所運営に反映させている。</p> <p>・市町村等外部機関に意見・苦情を申し出ることができる旨も説明している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・自治会に加入し、お祭りや盆踊り等に参加している。お祭りには神輿や山車が事業所の前を通り、正月には獅子舞が敷地の中に入り、利用者を楽しませている。</p> <p>・日課の散歩時には、道で会う人とは楽しく挨拶を交わし、農家の人から季節の野菜・花を貰う等、地元で溶け込んだ生活を送っている。</p> <p>・地域住民から認知症の相談を受け、対応できる医師等の情報を提供している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・利用者に「自分らしくありのままに」生活していただくことを基本に、事業所内は勿論、地域の方々とも「ゆっくり・ゆったり・のんびり・いっしょに・楽しく暮らし続ける」ことを理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・各ユニットの事務室に「運営方針・理念」を掲示し、常に職員が自覚できるようにしている。 ・運営方針・理念は採用時のオリエンテーションでホーム長が説明し、毎月のユニット会議では、全職員が日常のサービスで、どのように理念を具現化しているかを確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会に加入し、利用者はお祭りや盆踊り等に参加している。お祭りには神輿や山車が前の道を通り、正月には獅子舞が敷地の中に入って利用者を楽しませている。 ・散歩の際農家の方から野菜や花を頂いたり、地域の方から認知症に関する相談を受けたときなどは、必要に応じて医師を紹介するなど、相互の交流・連携を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価票作成には、非常勤を含む全職員に用紙を配布し、各職員が自己の職分範囲を記入し、各ユニットの主任とホーム長が取りまとめた。 ・自己評価票作成過程で得た新たな気付きは、今後の日常支援業務に活かして行くこととしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上 に活かしている	・初回の運営推進会議を平成21年3月28日に開催し、 参加者は、自治会長・民生委員・自治会婦人部・包括支 援センター・家族・利用者が出席した。今後は2ヶ月に1 回開催する予定である。 ・会議では利用者の状況や事業所の行事などを報告し、 参加者から食事のメニュー作り等の質問がでるなど、出 席者に対し事業所の理解を深めた。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外 にも行き来する機会をつくり、市町村とともに サービスの質の向上に取り組んでいる	・都筑区役所のサービス課とは定例的に接触し、利用者 対応などについて多くの指導を受けている。 ・都筑区主催の地域福祉権利擁護事業や成年後見制度 等の研修会にホーム長が出席し、その内容を職員に伝 えている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金 銭管理、職員の異動等について、家族等に定 期的及び個々に合わせた報告をしている	・家族へは毎月請求書発送時に、利用者の生活状況や 健康状態等を連絡している。その他家族来訪時も報告し ているが、緊急時は電話で連絡している。 ・お小遣いなどの預かり金は行っていない。利用者が購 入した場合は立替金で処理し、領収書など明細を付して 請求している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運 営に反映させている	・家族の意見や要望は主に来訪時にお聞きし、電話や メールで寄せられた意見と共に記録し、全職員に周知し 事業所の運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員に よる支援を受けられるように、異動や離職を必 要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の異動時に利用者が不安を感じないように、ユニッ ト単位で全職員が全利用者を担当することとしている。 ・経営者・ホーム長は適宜職員面接を行い、職員の定着 率向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・入社時の研修の他、横浜市グループホーム連絡会や都筑区主催の研修会への参加を促し、研修テーマによっては、必要な職員に参加を指示している。 ・参加した研修報告はユニット会議で行い、研修内容を他の職員にも知らせることにより、事業所全体のサービス向上に努めている。	○	・職員の育成には年間の研修計画を策定し、個々の職員が必要とする研修に計画的に参加できるような体制作りを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・横浜市グループホーム連絡会主催の交換交流会に参加し、双方から3人ずつの職員が相手事業所を訪問した。実務を通じて学ぶ点も多く参考になっている。 ・当事業所独自でも、他同業者との交換研修を実施するように検討している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に家族・利用者本人から生活上の問題点や希望を聞くが、ケースによっては事前に家庭を訪問して生活状況も確認し、入所後の支援に必要な情報を収集している。 ・利用者によっては入所前に事業所に来て、馴染んでもらうことも実施している。 ・利用者のアセスメント内容は、当該ユニットの全職員が周知しフォローできるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・日常生活の中で利用者は食事、掃除、洗濯などできる範囲で協力し、趣味の時間は折り紙などで、居間に飾る造花を職員と一緒に作成している。 ・また、職員が利用者から裁縫や、丁寧な言葉の使い方等を教えられることも多く、利用者職員が共に支えあう関係が実践されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・アセスメント記載事項から利用者個々の生活歴や趣味などを把握し、それをもとに日々の生活が利用者の意向に添ったものとなるよう支援努力している。 ・コミュニケーションが困難な場合は、事前に家族から話を聞いておき、表情や仕草などから把握に努め支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・介護計画作成にあたっては、日々の利用者の状況記録をもとに、利用者・家族・医師の意見を反映させ、フロア担当職員3名で作成している。 ・作成した介護計画は、家族来訪時に説明し、家族の認印を貰っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画は3ヶ月毎に見直しているが、利用者の状況に変化が見られた場合はカンファレンスで協議し、直ちに状況に即した見直しを行っている。 ・介護計画の見直しに際しては利用者・家族の意見・要望も反映させ、家族からはその都度確認印を貰っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・通院、入院や買物等で家族が付き添いできない場合は、職員で付添対応をしている。 ・医療連携体制を活かして、医療・介護両面での支援を実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・現在利用者全員が協力医療機関をかかりつけ医にしているが、希望があれば従来かかっていた医師からの受診も認めている。 ・協力医は月2回訪問診療し、別に契約看護師が週1回訪問して健康チェックを行って、結果を協力医に報告している。その他整形外科医からも必要時に往診を受けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針は目下検討中である。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の利用者に対する言葉かけは丁寧で優しく、誇りやプライバシーを損ねるような発言はなかった。(観察)。 ・個人情報記載書類は事務所内に施錠保管している。 ・利用者や家族との相談は、他の利用者に聞かれないように居室で行っている。 		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの生活のリズムを大切に、利用者の行いたいことを第一に考えて支援している。 ・生活歴から一人ひとりの楽しみごとを暮らしの中にとり入れ、落ち着いて穏やかに過ごせるように支援している。 		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と一緒に楽しく食事をするために、配膳・片づけなど利用者にもお願いしている。 ・利用者一人ひとりの好き嫌いを把握してメニュー作りに配慮している。 ・誕生会には利用者の好きな散らし寿司を作ったり、近くで外食したりする事が楽しみになっている。 		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は原則1日置きにしているが、希望者には毎日でも入浴できるように支援している。 ・入浴を楽しんでいただくために、湯温、入浴時間の長短など、個人々の好みに配慮し、車椅子利用で浴槽入りが困難な利用者には、シャワー浴で対応している。 		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・職員は利用者の生活歴や趣味などを把握し、ゲーム、歌、手芸、折り紙など一人ひとりが楽しめる支援に心がけている。 ・日常生活面では、食事・掃除・洗濯等できる範囲で職員と一緒にいき、利用者に役割を果たした充足感を感じてもらうように配慮している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・利用者は天候が許す限り散歩を日課として、車椅子利用者も一緒に出掛けている。散歩の途次では地域の方々とも挨拶を交わしている。 ・その他利用者の外出希望があれば、職員の買物に同行して一緒に外出を楽しんでいる。 ・季節のイベントとして、地域のお祭り・盆踊りや初詣・お花見・動物園等に行つて楽しむ機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・危険防止のため家族の了解を得て1・2階のユニットの入口は施錠している。 ・但し、利用者の外出希望には気配を察知して、可能な限り対応するように努めている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・避難訓練は開設以来実施していないが、今年5月には消防署の指導を受けて実施する予定である。 ・事業所内に有資格の「防災管理責任者」を配置して、防災に努めている。	○	・5月に予定している消防署指導の災害避難訓練の実施を期待します。また、食料品などの災害用備蓄も行うようにお奨めします。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・利用者一人ひとりの摂食量や水分摂取量は記録管理している。水分不足の場合は紅茶やスポーツ飲料など飲みやすいもので補充している。 ・糖尿、高・低血圧等の持病がある利用者の食事には、個別メニューの作成などを配慮している。	○	・毎年定期的に管理栄養士などによる栄養バランス・カロリーチェックなどの指導を受けることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共用空間は、窓からの採光は豊かで明るく、温湿度も職員がきめ細かに管理し、臭気はなく、清潔さも保たれている。 ・リビングには季節の花を活け、利用者手作りの折り紙やカレンダーが飾られ、家庭的な生活感や季節感をとり入れ、居心地のよい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室入口に表札を掛け、室内には使い慣れたベットや家具を持ち込み、家族の写真や趣味の物を飾り、居心地良い自分の部屋になっている。 ・自室の掃除は利用者も手伝い、整理整頓も職員と一緒に、爽やかさと清潔さが保たれている。		

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 蘭寿しらかし
(ユニット名)	しらかし1
所在地 (県・市町村名)	神奈川県横浜市都筑区折本町1373-1
記入者名 (管理者)	荒木美知子
記入日	平成 21 年 3 月 9 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	地域で行われている行事、自治会活動に参加し地域住民の一人として関わりを深めております。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	入職時のオリエンテーションにて理念の説明を行っております。また、各ユニットの事務室には理念を貼り出し常に目に触れるよう配慮しております。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	○	各月の「運営推進会議」にて地域の方々、ご家族様、入居者様等に日々の暮らしのあり方、出来事がどのような形で運営方針・理念に反映されているかをお伝えしていきます。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	こうした関係の維持に努め、施設と地域の相互理解を深めて行く事を目指していきます。

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご家族様、職員より「認知症」について、その周辺症状等について相談を受け情報提供、助言等を行っております。</p>	○	<p>地域の専門施設として「認知症」でお困りの方々に気軽に来て頂き、様々な情報を提供していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今回、初めて第三者評価を受けました。自己評価に対する質問項目は客観的視点を養い職員にとっては大変勉強になったのではないかと思います。</p>	○	<p>今後もこうした自己評価を通して、客観的視点を養い業務の改善を図っていける様努めてまいります。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3月に第1回を予定しております。以降は、隔月に開催しGHでの生活、サービス内容等への理解を深めていただければと思っております。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>県・市・社協等の指導講習会等に参加しております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護、青年貢献制度の講習会には参加し、施設内研修にて発表の場を設けております。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入居者様の状態を常に把握し異常の早期発見に努めております。職員の業務への不満、ストレス等をためないよう話を聞く場を設けております。</p>		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前にご家族に入退去について説明を行っております。その他の疑問点についてもその都度説明を行い不安の無き様管理者が対応しております。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホームに対しての要望・意見・不満・苦情等については、真摯に受け止め運営会議で検討を図っております。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一回、入居者様の日頃の様子、往診時のDrの見解等ご家族に報告しております。また、状態の変化、受診の必要性、物品購入等についても随時連絡し、ご了解を頂いております。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族へも評価を依頼し率直なご意見を述べて頂いております。また、面会、電話、メール等にて直接問い合わせを頂くこともあります。いづれにしても忌憚のないご意見を頂き改善すべき点等を検討しております。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のユニット会議にて施設の方針等について説明を行っております。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>「必要な時に必要なケア」をスタンスに入居者様の状態の変化に応じ適宜シフト調整を行っております。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が業務をスムーズに遂行できるよう運営者、管理者は常に現場の状況を把握し職員のストレスが高じないよう適宜面接を行い話を聞くよう努めております。</p>	

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他施設への研修、区主催の講習会等への参加を促し、職員の意欲を高め資質の向上に努めております。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設との交換研修を日常的に行える様検討を図っております。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の業務を分担し運営者、管理者が担うことによって業務の軽減を図り職員がストレスを高めないように配慮しております。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>今、業務を通して「必要な事を必要な方に必要に応じて行う」事の重要性を理解し仕事への遣り甲斐をもってもらいたいと思います。その為に運営者、管理者は知識・技術を持って研鑽に努め、職員に伝えて行く事を目指します。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>定期的にカンファレンスを行い個々のニーズの把握に努めております。日々の様子から直接入居者様よりお話を伺い場合によってはご家族様に確認させて頂いております。「その思いを受け止める」が何よりと捉えております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご見学時にご家族様の不安、困難な状況等についてお聞きしております。GHの専門性について、入居後の環境の変化等によるご本人の様子等についても(良きも悪くも)お話し、ご理解頂いております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今現在そうした事例はございませんが、ご退去された後も必要であれば相談等いつでもご連絡頂ければと思っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人のご希望・ご要望にお応えし、GHでの生活を充実して頂ければと思っております。ご家族様、関係機関からの情報もいただきご本人にとっての最良のケアプランに基づきアプローチを試みていきたいと思っております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様には、ご入居前にセンター方式によるアセスメントシートをご説明しご記入頂いております。今まで繰り返されてきた生活様式、馴染みの品々等々、可能な限りGHに持ち込んでいただきGHでの生活に充実感を持って頂ければと思います。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のバイタル測定、声かけ・見守り等にて状態を観察し異常の早期発見に努めております。また、日々の状態観察は職員全員で共有し入居者様全員の把握に努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の状態は記録等で個々に確認し変化が見られた時は適宜カンファレンスにて検討を図っております。ケアプランの見直しも含めてご本人にとっての最良のあり方を職員間で話し合い共有し対応を図っております。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	適宜カンファレンスを行いケアプランの変更を行っております。ご家族様にはその旨お伝えしケアプランの確認をして頂いております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の業務日誌、個別記録等を必ず確認し、個々の入居者様の状態を把握し、情報の共有に努めております。カンファレンスはそうした情報を基にケアプランの見直しに活かし入居者様が安心して過ごしていただけるよう努めております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要に応じて外部サービスの調整を図り個々の入居者様の要望に対応しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署の協力を得て避難訓練の実施を予定しております。また、入居者様が必要とする機関との連携も速やかに行えるよう努めております。ご入居後も民生員の方に訪問していただきその方を支援して頂いております。	○	ボランティアの方々に来ていただき入居者様の楽しみを増やし生活の充実を図ってまいります。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状態の変化、ケアの必要性等に応じて適宜サービスの調整を図っております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	成年後見制度を利用している入居者様との関わりにおいて区役所・地域包括支援センターとの連携を図っております。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診(内科)にて入居者様の健康管理を行っております。他に必要に応じて精神科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、歯科等受診していただき状態の安定と維持に努めております。医療機関については、往診医より紹介して頂き、ご家族様と相談のうえ、受診していただいております。		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	「その時」、ご家族様、往診医、職員等の十分な話しあいの下で準備を進めていきたいと思っております。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	「出来る事、出来ない事」の見極めについては、法を遵守し、ご家族の協力、職員の対応能力等を踏まえ、往診医との連携の下で始めて可能な事と認識しております。今後も研鑽に努めご要望に添えるよう対応を図ってまいります。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に入る際はノックをします。記録の際、他入居者様の名前は書かないなど、個人情報の管理の徹底を図り、書類などの保管にも注意しております。また、入居者様からの相談事などは居室や、他の場所などで対応しております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	日常生活を観察し様子の変化等に充分注意を払っております。お声を掛け、お話の中からその方の「思い」「要望」等について受け止められるよう努めております。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課として毎日の散歩がございますが、いつもは気持ち良くお出かけなのですが、時として「今日は行きたくない」と言う方がいらっしゃいます。その時々を気持ちを尊重し、対応しております。日常生活を穏やかに過ごして頂く事を第一に考えております。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分らしく着ることが出来るよう支援しております。好みの色合い、ご家族様がお持ちになられた衣類等自身で選べる様助言し見守りをしております。また理美容については月に一度の「訪問理美容」にてヘアカット、パーマ、カラーリング等ご希望に添って対応して頂いております。行き付けの美容室にご家族様がお連れになられる事もあります。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、料理の味付け、配膳、片付け等、入居者様と一緒にしております。献立も個々の方々の好物、嫌いなもの等把握しメニュー作りに配慮しております。また、誕生会、その他各行事においては特別メニューを入居者様とご相談しつつ楽しんで頂いております。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、飲酒される方がおられませんので特にお出ししていません。喫煙に関しては健康や安全面を考慮しご遠慮頂いております。おやつは、お楽しみの一つでご家族様がお面会時にお持ち下さったお菓子、手作りのお菓子、果物等を楽しんで頂いております。	

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握して事前にトイレへお連れしております。ご本人の様子を見守り失禁等の軽減に努めております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前にバイタルを測定し安心して入浴して頂いております。気持ちよく入浴して頂ける浴室・脱衣室等の温度、湯温に配慮しご本人のペースで入浴して頂いております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入眠は個々によって異なりご本人のペースに合わせてゆったりお休み頂いております。夕食後、リビングで歌謡番組をご覧になられたり自室に戻られたりと夫々くつろいで頂いております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時にご家族様にお願いしたアセスメントシートは職員全員が共有し、今までの生活とこれからの生活に支障が無きよう努力しております。一人ひとりに合う役割や楽しみ方を日々の生活の中に見出していけるよう支援しております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて金銭を所持して頂いております。被害的になり易い方が金銭を所持する事で妄想が憎悪したり、あるいはその逆に多少の金銭が落ち着きを与えたりと反応は様々なようです。適宜その方の状態に応じて対応しております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ほぼ毎日散歩にお連れし、気分転換を図っております。散歩は地域との交流を図るうえで大切な日課となっております。その他の外出としてはお買い物、お花見、行事等での外出がありますが今後もその機会を増やし社会参加としての支援を行っていきます。	○	希望があればその都度一緒に出かけられるように取り組んでいきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	初詣、お花見、動物園等の企画を行い外出の機会が得られるよう支援しております。		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の同意の下に、ホームの電話を使っただいております。手紙の投函は、職員が支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族様をはじめとし訪問のお客様に対してはいつでもお気軽に訪問して頂けるよう配慮しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束は行わない」をスタンスにあらゆる方策を講じて対処しております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットごとの出入り口には危険防止の為、施錠しておりますが建物の玄関は、施錠しておりません(夜間施錠)。ご家族様、入居者様には事前にご説明しご理解を頂いております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、24時間、入居者様の所在や様子を把握し、安全に配慮しております。	外出・在宅において常時所在の確認を行っております。声掛け、様子観察等にて状態の把握に努め、業務日誌にて在籍数の確認を行っております。夜間も定期的に巡回し安心してお休み頂けるよう見守りをしております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等の危険物は入居者様の手の届く所に置かないよう保管場所等に配慮し安全面に留意しております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故を未然に防ぐよう対応上の諸注意を職員全体で共有しております。所在の確認、服薬の確認、様子観察等今後も意識を高め注意力を持って対応できるよう努めてまいります。		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルを作成し会議にて周知を図っております。また、事務室に掲示し緊急時には速やかに対応できるよう全職員に注意を促しております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練については現時点において未実施であります。「防災管理責任者」について要資格者の職員を配置しております。	○	今後、避難訓練の実施を予定しております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	月に一度、日頃の生活の様子をお手紙にてご報告しております。他に必要に応じてケアについてご相談し、今後の方針等について話し合いを行っております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化、食事量の低下等が見られた時は、職員間で情報を共有し、主治医へ状況報告し指示を仰いでおります。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々の処方内容について把握し、処方内容の変更時には、連絡ノートなどに記入し周知を図っております。また、薬説などから、薬の内容を理解するように心がけております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食にはヨーグルトを食べて頂き、お通じに配慮しております。また、日中の運動や水分摂取量などに留意し便秘の予防に努めております。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きを行って頂くよう声掛け、見守り介助を行っております。口腔ケアの重要性を理解し歯科受診の必要な方はご家族様に連絡し受診の調整を図っております。		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に応じて食事量や食形態を配慮し記録しております。水分量も、一日を通して最低限の量を摂取していただいております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルに基づき、玄関にマスク、アルコール手指消毒剤を設置し来客の方々へマスク着用と消毒をお願いしております。また入居者様には外出後手洗い、うがい、消毒等行っております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具、フキン、コップ等ハイター消毒を行っております。職員は手洗いを充分に行いアルコールにて消毒・殺菌行っております。また、食材の買い置きをしないよう、必要に応じ準備しております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にプランターを置いて季節の花でお客様をお迎えしております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を旨に各居室、共有スペースの清掃を徹底しております。特にリビングには季節を感じて頂けるように壁飾り、カレンダー、花をあしらって楽しんで頂いております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファやダイニングテーブルなどで思い思いにお過ごしいただけるよう雰囲気作りに配慮しております。		

蘭寿しらかし(しらかし1)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様やご本人と相談しながら好みの家具を配置し、写真や絵などを飾り、居心地よく過ごせるよう配慮しております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度計、湿度計を確認し室内の空調に留意しております。また、各居室の換気、リビングの換気等適宜行い環境を整備しております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段・廊下・浴室・トイレ等全て必要な所に手すりを設置し、立ち上がりや歩行が安全に行える様に配慮しております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の状態の把握に努め、安心感が得られるよう声掛け見守りを重視し、現状を維持して頂けるよう支援しております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	散歩後、庭で日向ぼっこ、ボール遊び、体操、井戸端会議等を行っております。また、季節に応じてお花見や焼き芋パーティーを行い入居者様に楽しんで頂いております。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

蘭寿しらかし(しらかし1)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 蘭寿しらかし
(ユニット名)	しらかし2
所在地 (県・市町村名)	神奈川県横浜市都筑区折本町1373-1
記入者名 (管理者)	荒木美知子
記入日	平成 21 年 3 月 9 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	地域で行われている行事、自治会活動に参加し地域住民の一人として関わりを深めております。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	入職時のオリエンテーションにて理念の説明を行っております。また、各ユニットの事務室には理念を貼り出し常に目に触れるよう配慮しております。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	○	各月の「運営推進会議」にて地域の方々、ご家族様、入居者様等に日々の暮らしのあり方、出来事がどのような形で運営方針・理念に反映されているかをお伝えしていきます。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	こうした関係の維持に努め、施設と地域の相互理解を深めて行く事を目指していきます。

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご家族様、職員より「認知症」について、その周辺症状等について相談を受け情報提供、助言等を行っております。</p>	○	<p>地域の専門施設として「認知症」でお困りの方々に気軽に来て頂き、様々な情報を提供していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今回、初めて第三者評価を受けました。自己評価に対する質問項目は客観的視点を養い職員にとっては大変勉強になったのではないかと思います。</p>	○	<p>今後もこうした自己評価を通して、客観的視点を養い業務の改善を図っていける様努めてまいります。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3月に第1回を予定しております。以降は、隔月に開催しGHでの生活、サービス内容等への理解を深めていただければと思っております。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>県・市・社協等の指導講習会等に参加しております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護、青年貢献制度の講習会には参加し、施設内研修にて発表の場を設けております。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入居者様の状態を常に把握し異常の早期発見に努めております。職員の業務への不満、ストレス等をためないよう話を聞く場を設けております。</p>		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前にご家族に入退去について説明を行っております。その他の疑問点についてもその都度説明を行い不安の無き様管理者が対応しております。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホームに対しての要望・意見・不満・苦情等については、真摯に受け止め運営会議で検討を図っております。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一回、入居者様の日頃の様子、往診時のDrの見解等ご家族に報告しております。また、状態の変化、受診の必要性、物品購入等についても随時連絡し、ご了解を頂いております。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族へも評価を依頼し率直なご意見を述べて頂いております。また、面会、電話、メール等にて直接問い合わせを頂くこともあります。いづれにしても忌憚のないご意見を頂き改善すべき点等を検討しております。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のユニット会議にて施設の方針等について説明を行っております。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>「必要な時に必要なケア」をスタンスに入居者様の状態の変化に応じ適宜シフト調整を行っております。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が業務をスムーズに遂行できるよう運営者、管理者は常に現場の状況を把握し職員のストレスが高じないよう適宜面接を行い話を聞くよう努めております。</p>	

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他施設への研修、区主催の講習会等への参加を促し、職員の意欲を高め資質の向上に努めております。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設との交換研修を日常的に行える様検討を図っております。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の業務を分担し運営者、管理者が担うことによって業務の軽減を図り職員がストレスを高めないように配慮しております。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>今、業務を通して「必要な事を必要な方に必要に応じて行う」事の重要性を理解し仕事への遣り甲斐をもってもらいたいと思います。その為に運営者、管理者は知識・技術を持って研鑽に努め、職員に伝えて行く事を目指します。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>定期的にカンファレンスを行い個々のニーズの把握に努めております。日々の様子から直接入居者様よりお話を伺い場合によってはご家族様に確認させて頂いております。「その思いを受け止める」が何よりと捉えております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご見学時にご家族様の不安、困難な状況等についてお聞きしております。GHの専門性について、入居後の環境の変化等によるご本人の様子等についても(良きも悪くも)お話し、ご理解頂いております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お話を伺う過程で「今」ご本人、ご家族にとって適切なサービスとは何かと言う事を念頭にご入居の時期、ご入居までの在宅サービス利用について、あるいは他施設・他機関等へのアプローチについてご説明させて頂いております。また、ご入居後の状態等の変化についてもその都度ご説明し、ご安心いただけます様努めております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず、お話を十分に伺うなかでご本人の状態像について把握してまいります。その上で施設に来訪が可能であるか否かをご家族様と話し合い判断をさせて頂いております。来訪が難しい場合には、管理者、主任等が、ご自宅あるいは入院先を訪問し面会させて頂いております。その際、ご本人への声かけにはご家族からの聞き取りを踏まえ、安心感が得られるよう、配慮しております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	私どもの理念のなかに「一緒に楽しく」という言葉がございます。日常生活を通して入居者様と職員が互いに支えあい、互いに理解を深め合う関係を築いて行けるよう努めております。四季の移ろいの中、一緒に散歩を楽しみ、日常生活のその折々の感情を受け止めております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	誕生会、クリスマス会、外出企画等年間を通して行われる行事等については、ご家族様にも参加を呼びかけご出席頂いております。そうした折のご本人の様子から職員との関わりの深さを見守っていただければと思っております。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居を納得されていない方にとっては、ご家族への思いが一段と強く「家に帰りたい」「何故迎えに来ない」等訴えられます。そうした折はご本人の訴えを傾聴し、ご家族も同様の思いをされているのではないかとお伝えしております。今後は、お仲間と私たちと楽しく一緒に時を過ごして頂けるようお話ししております。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会については、特に制限を設けずに来て頂いております。ご家族様をはじめ、友人・教え子・隣人等の方々が面会に来られております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲間意識が芽生えるよう入居者様、お一人お一人の言動を見守り把握するよう努めております。日常生活の中で相互に行き違いが生じる場面もありますが言葉かけ、スキンシップ等職員が適宜介入し良好な関係作りを支援しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今現在そうした事例はございませんが、ご退去された後も必要であれば相談等いつでもご連絡頂ければと思っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人のご希望・ご要望にお応えし、GHでの生活を充実して頂ければと思っております。ご家族様、関係機関からの情報もいただきご本人にとっての最良のケアプランに基づきアプローチを試みていきたいと思っております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様には、ご入居前にセンター方式によるアセスメントシートをご説明しご記入頂いております。今まで繰り返されてきた生活様式、馴染みの品々等々、可能な限りGHに持ち込んでいただきGHでの生活に充実感を持って頂ければと思います。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のバイタル測定、声かけ・見守り等にて状態を観察し異常の早期発見に努めております。また、日々の状態観察は職員全員で共有し入居者様全員の把握に努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の状態は記録等で個々に確認し変化が見られた時は適宜カンファレンスにて検討を図っております。ケアプランの見直しも含めてご本人にとっての最良のあり方を職員間で話し合い共有し対応を図っております。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	適宜プランの変更を行いご家族様のご了解を頂いております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の介護日報の他、ケア記録を作成し、情報の共有を行い、介護計画に反映させています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その必要に応じて、外部サービスなどを依頼し、外出、通院の支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現在あまり行えていない。	○	ボランティアの方々に来て頂き、利用者の方々の楽しみを増やしたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	リハビリの必要のある方に専門のサービス機関を利用させていただいております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後必要に応じて実施に向けて調整中です。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診をしていただいている。また、急病の際は、24時間体制で連絡を取れるようにしている。また、本人や家族の希望があれば、入居前からのかかりつけ医に受診していただいております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	必要に応じて準備を整えていきたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	必要に応じて準備を整えていきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に入る際はノックをします。記録の際、他の利用者の名前は書かないなど、個人情報の管理の徹底を図り、書類などの保管にも注意しております。また、利用者からの相談事などは居室や、他の場所などで対応しております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何かを決める際は職員の判断で決めず、話し合いにて決めるようにしています。利用者の考えにあわせるように努力しております。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩、入浴などは、体調や天候などを考慮し、無理に行っていないだけでなく、ご自分の意思を尊重するように心がけております。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月一度の訪問理容を利用し、ご本人の希望通りのカットを行っております。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	衛生面に注意し、出来るだけ食事作りへ参加していただくようにしております。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつなどはお好みなどに合わせて、健康や安全を考え提供しております。タバコは禁煙をいただいております。	

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1人1人のADLにあわせた対応・対処を心がけ、必要に応じてパット交換等を行っております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前にバイタルを測定し、声かけにより、ご本人希望で入浴していただいております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	規則正しい生活を心がけて頂き、体調が悪い時はゆっくり休んでもらうなど、安心して気持ちよく過ごせるように努めております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居当時に、ご家族に記入して頂いたアセスメントシートは、職員全員が共有し、今までの生活とこれからの生活に支障が生じないよう努力しております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる人には、管理していただいております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の悪い日以外は散歩や日光浴などお誘いしております。	○	希望があれば、その都度一緒に出かけられるように取り組んでいきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	フロアで話し合いを行い、行きたい所へ行けるように、外出企画を立てております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な方には携帯電話を持っていただいております。手紙の投函は職員が支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	誰がいらしても挨拶するようにし、ご家族との外出、訪問など気軽に出来るように支援しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員の見守りを行い、身体拘束は行わない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロアごとの出入り口には危険防止の為、施錠を行っていますが、建物の玄関は施錠しておりません。(夜間施錠)利用者の方には必要性を説明し、理解していただけるように努めております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で声を掛け合い、常に利用者の所在の確認を行い、様子観察しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等の危険物は利用者の手の届く所に置かない。危険物の保管箇所など管理、施錠を行う様にしております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に所在を確認し、見守りをする。服薬の際は、薬、本人、声に出し確認を行い、確実に内服するまで見守る。事故が起きた際には、事故報告書にまとめ、すべての職員が把握し、改善につなげております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルをスタッフルームに掲示しております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練については、現時点において未実施ではありますが(防災管理責任者)について、要資格者の職員を配置しております。	○	今後避難訓練の実施予定しています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日々の生活の様子の報告を行い、ご家族と今後の方針についての話し合いを行っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル異常や食事量の低下があった際は職員間で情報の共有を行っている。また、主治医にも連絡を行い、指示を仰いでいます。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新しい薬が処方された際は、連絡ノートなどに記入を行い、情報の共有を図ると共に、薬説などから、薬の内容を理解するように心がけております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を多く摂取していただけるようにしたり、体操や散歩など毎日行うようにしております。また、主治医にも報告を行い、指示を受けております。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後、おやつ後の口腔ケアの声掛けを行っております。出来ない方は職員が口腔ケアを行っております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は一人ひとりあった量にする。また、高血圧、糖尿病、低血圧などの食事には気をつけております。水分は十分に取っていただけるように、こまめに声掛けを行っております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルに基づき、手洗い、うがい、消毒など行っております。玄関にアルコール手指消毒剤、マスク等を設置し、来客の方々にマスク着用と消毒をお願いしております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	職員は、手洗いを十分に行い、アルコールなどで消毒、殺菌を行っております。また、食材の買い置きをせず、必要に応じ準備しております。調理用具、フキン、コップ等は毎日ハイター消毒を行っております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターに季節の花を飾っております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に掃除を行い、清潔に心がけております。カレンダーや季節のものを飾り、季節感を味わえるようにしております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや食卓など利用者同士で話しが出来るように工夫しております。		

蘭寿しらかし(しらかし2)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	長年使用していた品物などを居室へ置き、ご本人の希望で 配置を行い、ご本人が居心地よく過ごせる様にしておいま す。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	室内の温度、湿度を配慮をしながら、居室の換気を行い、毎 日の清掃、消臭を心がけております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	階段、廊下、浴室、トイレ等、全て必要な所には手すりをつ け、歩行、立ち上がりなど一人で出来るようにしている。また、 フロアをバリアフリーにし、転倒防止に努めております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	トイレにトイレマークをつけ分かりやすくしております。また、 居室に、表札をつけております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	庭でシャボン玉をしたり、散歩をしたり、季節の花を楽しんだ りしております。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

蘭寿しらかし(しらかし2)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		○	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
		○	④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)